

平成二十六年 度

岡山中学校「A方式」問題 II

【注意】

- この試験は、文章や資料を読んで、太字で書かれた課題に対して、答えやあなたの考えなどを書く試験です。課題ごとに、それぞれ指定された場所に書きましょう。
- 試験用紙は、表紙（この用紙）をのぞいて三枚あります。指示があるまで、下の試験用紙を見てはいけません。
- 先生の「始め」の合図があつてから、試験用紙の枚数を確認、三枚とも指定された場所に受験番号を記入しましょう。
- 試験用紙の枚数が足りなかったり、やぶれていたり、印刷のわるいところがあつたりした場合は、手をあげて先生に知らせましょう。
- 試験用紙の ※ 



 には、何も書いてはいけません。
- この試験の時間は、四十五分間です。

課題1 次の文章を読んで、あとの(1)から(5)に答えましょう。

(三枚のうちの一枚め)

ひとはじぶんが誰であるかを、じぶんは何をしてきたか、じぶんにしかできないことは何かというふう問うてしまう。いまのままではいたたまれなくて、あるいはいまのじぶんに満足できなくて、つい、どうしたらいいか、何をしたらいいかと考え込んでしまう。

一時期、「自分探し」という言葉が流行った。いまなら「自己実現」というところか。だが、いまのじぶんがそのまま定着してしまっいいと思うひとはいないだろう。いまのこんなじぶんから抜け出たいとは思っても。ということは、「自分探し」や「自己実現」ということでひとが求めているのは、理想的なじぶんのイメージを探したり、それになりきりたいということだ。では、なぜ目標に近づくとか理想を求めるといいう言い方をしないで「自己」実現というのか。

ここには巧妙なすりかえがある。現にそうでないじぶん、つまり理想のじぶんのイメージを、じぶんの素質、それもまだ実現されていない素質と考え、それを実現することを妨げるような状況にじぶんは置かれている(きた)と考えてしまうのである。じぶんがいまこんなに塞がった状況にあるのは、(じぶんのせいではなく)過去のあのトラウマ(外傷)のせいだとして、アドルト・チルドレンという言葉にすっと乗って納得してしまふ、一部の若者たちの心境に似ている。その傷との格闘のなかでこそ、△じぶん▽はかたちづくられるものなのに。

たしかにひとは老いても、いや老いの入口においてこそ、じぶんの存在の意味について考えはじめる。勤労者、夫(もしくは妻)・父・子(もしくは嫁)といった役割から解かれ、ひとりのむきだし△個▽として、じぶんと対面しなければならなくなるからだ。社会のなかに住むひとりの役割をもった存在として、しなければならぬこと、させられることにかまけられているあいだはまだいい。そういうごまかしがきかなくなるのが老いというものだ。もっとも、ほんとうに老いばればそんなこと、気にもせずに飄々としていられるようになるかもしれないが。

ある意味で、老いというのは、あれができなくなった、これもできなくなったと、いろいろに思い知らされることが、どんどん増えてゆく経験である。ふと気がつけば、新聞を眼から遠ざけている、徹夜ができなくなった、電車をひとつくらい遅らせてもいいやと思うようになる……。が、そのことで、人生を「できる」ことからでなく、「できなかつた」ことから見据えることができるようになる。そして「A」「B」ことよりも、「C」ことの意味にふれようとははじめる。

(鷺田清一著『新編 普通をだれも教えてくれない』から)

\*注 巧妙な…非常に巧みであること。

(1) 次の第一群、第二群それぞれの漢字カードを一枚ずつ組み合わせて漢字を四つ作りましょう。カードは何回使ってもかまいません。

第一群

反

青

月

第二群

日

良

し

--	--	--	--

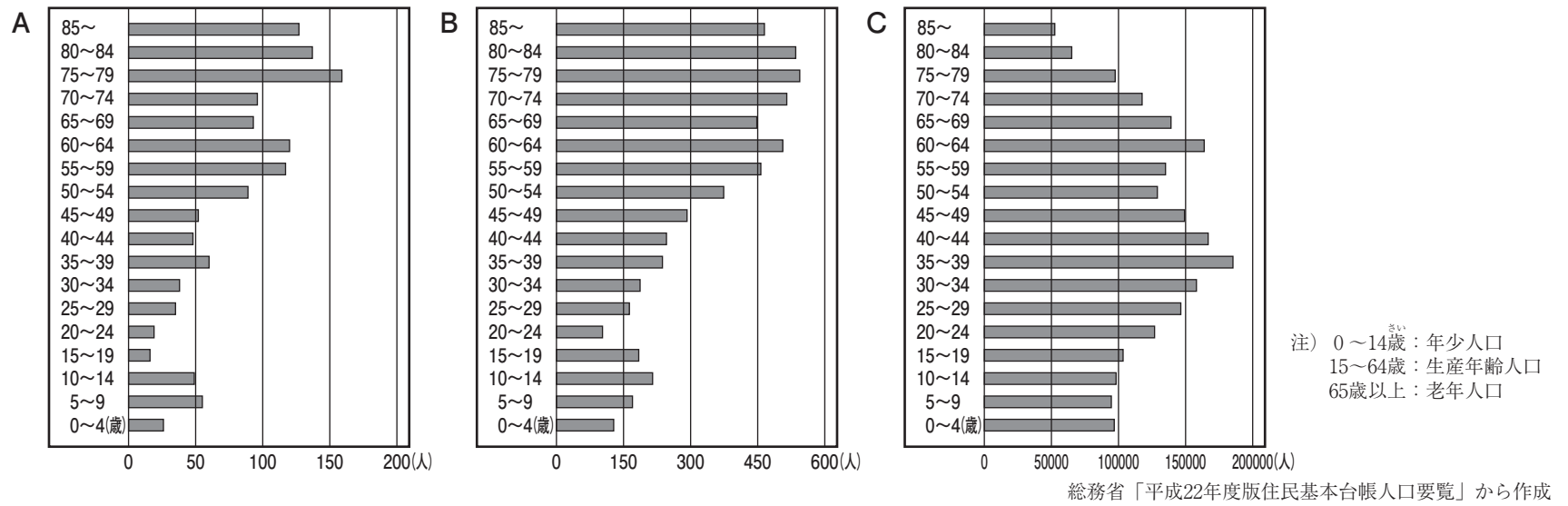
※



受験 番号	
----------	--

課題3 次の資料を見て、あとの(1)から(3)に答えましょう。

資料1 市町村A, B, Cの年齢別人口



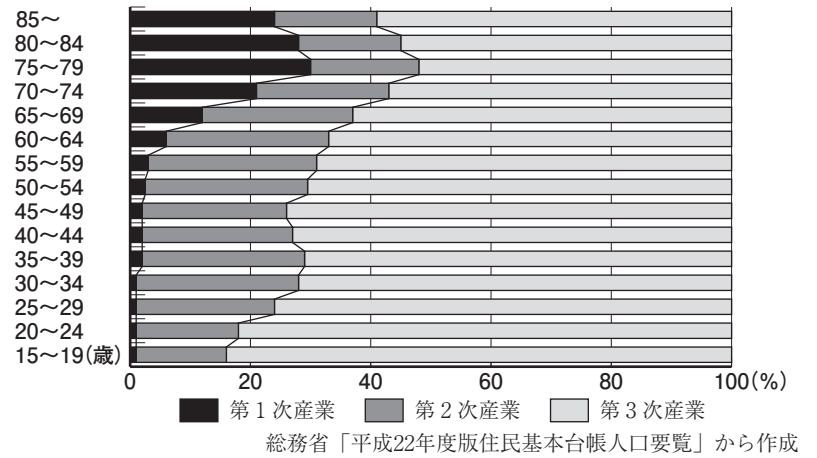
資料2 市町村A, B, Cの産業別人口割合

	ア	イ	ウ
第1次産業	0.3%	18.4%	21.6%
第2次産業	24.3%	24.6%	24.2%
第3次産業	75.4%	57.0%	54.2%

注) 第1次産業 (農業・林業など)  
 第2次産業 (鉱業・製造業など)  
 第3次産業 (商業・サービス業など)

総務省「平成22年度版住民基本台帳人口要覧」から作成

資料3 全国の年齢別就業者割合



(1) 資料1を見ると、A, BとCの<sup>ちが</sup>違いがわかります。AとBに共通する特ちょうを、Cと比べて2つ書きましょう。ただし、2つの特ちょうはそれぞれ異なる視点から書きましょう。

1つめ	Cと比べて,
2つめ	Cと比べて,

※

(2) 資料2の表中ア~ウのうち、Cはどれにあてはまるか記号で答えましょう。また、そのように考えた理由を資料1, 資料2, 資料3の全てを使って答えましょう。

記号	
理由	

※

(3) AやBのような地域では、地元の商店やスーパーマーケットなどが閉店したため、その地域の住民が生活用品などの購入に困るとい問題が起こっています。この問題を解決するために、市町村または企業はどのような<sup>こうにゆう</sup>取り組みをしたらよいと思いますか、あなたの考えを書きましょう。

--	--

※